

2022.05.19. 木曜礼拝 人々のために泣く

エレミヤ書 8 章

JD ファラグ牧師

この章では、エレミヤが親しみを込めて「涙の預言者」と呼ばれる理由をみていきます。7 章から 10 章では、エレミヤは、エルサレムの神殿に入る門の前で、公にユダに対して預言しているのです。ですから、あと 2 章もあるのですが、そんな風には言いたくないのですが、主の御心なら、来週は 9 章と 10 章の両方に挑戦したいと思います。キーワードは”挑戦”です。しかし、8 章だけは、じっくりと取り組みたかったのです。理由はすぐに分かると思います。しかし、悲しいことに、エレミヤが告げたこの預言は、神の裁きがその民に下るというもので、すべては彼らが悔い改めて主のもとに戻ることを拒んだからです。そこで、この 1 節からいきなりです。かなり強烈ですが、始めましょう。

エレミヤ 8

1 主は言われる、その時ユダの王たちの骨と、そのつかさたちの骨と、祭司たちの骨と、預言者たちの骨と、エルサレムに住む人々の骨は墓より掘り出されて、

これは、この文化、この時代では考えられないこと、忌まわしいことだったということを理解しなければなりません。なぜなら、その文化では、そして現代でも、死者を埋葬しなければならないからです。そして今、この預言は、彼らが死者の骨を掘って掘り起こすというものです。さて、彼らはそれをどうするのか？ 2 節に書かれています。

2 彼らの愛し、仕え、従い、求め、また拝んだ、日と月と天の衆群の前にさらされる。…

これが理由です。

…その骨は集める者も葬る者もなく、地のおもてに糞土のようになる。

さて、前置きが長くなりましたが、今回もまた、強烈な始まりですが…エレミヤがその恐ろしさのすべてを見せられたとこを理解することが重要です。エレミヤはそれを見せられ、今度は公言し、預言しなければならないのです。しかし、エレミヤはそれが起こる前に、何が起こるのか、その恐怖のすべてを見せられているのです。そして、エレミヤは民に、これが起こることだと、宣告しているのです。これは、言葉は悪いですが、広場にいる伝道師のようなもので、人々が集まるにぎやかな場所にいるのです。そして間違いないのは、この時、多くの人が集まっていたことです。これが神殿の入り口です。彼らは門の前にいて、計画的に配置されていると言えるでしょう。そして、エレミヤがこれを語っているのです。思い浮かべてください。彼らの反応は？ エレミヤはこう叫んでいたでしょう。

「あなたがたは祭司や預言者、民の骨を掘り起こすことになり、太陽や月、天の軍勢を前にして、ゴミのように放置することになる。なぜなら、あなたがたが太陽や月を拝み、それらに従って歩み、それらを求め、礼拝したからだ。今、あなたは自分の骨を掘り起こされ、埋められるのではなく、それらの前にごみのように並べられるのだ。」彼らはきっと素通りしたでしょう。「ああ、また来たか。」「おお、今日も来たのかエレミヤ。マジか？」3 節。

3 この悪しき民のうちの残っている残りの者はみな、わたしが追いやった場所で、生きることも死ぬことを願うようになると、万軍の主は言われる。

これが想像できますか？ これから起こることは、非常に恐ろしく、死は喜ばしいことであると。

それが、エレミヤがここで宣告していることです。それほど、恐ろしいことになるのです。これは、黙示録にある預言を思い起こさせませんか？ そのはずです。(黙示録) 9 章 6 節です。患難時代には、とて

も恐ろしいことになるのです。黙示録9章6節に書かれています。

黙示録9

6 その時には、人々は死を求めても与えられず、死にたいと願っても、死は逃げて行くのである。

それほど酷い状態になるのです。エレミヤが心を痛めるのも無理はありません。「涙の預言者」というのも当然です。エレミヤは何が起こるのか見せられたのです。ところで、私たちも、同じ方法ではありませんが、私たちには、神の御言葉の中に啓示があり、これから何が起こるかが示されている、黙示録の書があるのです。それは、本当に恐ろしいことになり、とてもひどく、とても信じられないことです。死にたいと思ひ、死を求めても死が逃げていくなんで、相当ひどいことです。つまり、死は喜ばしいことになるのです。4節。

4 あなたは彼らに言わなければならない。主はこう仰せられる、人は倒れたならば、また起きあがらないであろうか。離れていったならば、帰ってこないであろうか。

5 それにどうしてこの民は、常にそむいて離れていくのか。…

覚えておいてください。もう一つ、覚えておくべきものがあります。

…彼らは偽りを固くとらえて、帰ってくることを拒んでいる。

6 わたしは気をつけて聞いたが、彼らは正しくは語らなかった。その悪を悔いて、…

このことに注目して欲しいのです。

…『わたしのした事は何か』という者はひとりもない。…

「何という事をしてしまったのか」

…彼らはみな戦場に、はせ入る馬のように、自分のすきな道に向かう。

7 空のこうのとりでもその時を知り、山ばとと、つばめと、つるはその来る時を守る。しかしわが民は主のおきて(裁き)を知らない。

わお…つまり、この鳥でさえ、どこに行くべきか、どのように行くべきか、いつ行くべきかを知っていて、行くのです。しかし、わたしの民は違う。彼らは戻らず、帰って来ない。私はしばらくこのことを考えていました。これに注目する必要がありました。“常にそむいて” ふむ…どういう意味か分かりますね？ 継続的に、絶え間なくということです。このように、彼らは絶えず、常に、後戻りの状態にあったのです。悔い改める気はありませんでした。これこそ私が愛する神の御言葉であり、御言葉の神であり、特にここでの預言者エレミヤの言葉ですが、ただ自分に問いかけるという、この内面的な問いかけの具体性です。

「私は何をしてしまったのか。」お聞きください。この断定的な常に背くことの説明は、これしかありません。それは強情さ、かたくなさ、いわば、うなじの硬さ、この問を投げかけようとしないうことです。

「私は何をしてしまったのか」なぜなら、もし私が自分自身に「私は何をしてしまったのか」と問いかけるなら、もう、背き続けることはないからです。なぜ、もう背き続けることはないのか？ 神の御心に添った悲しみで満たされるからです。使徒パウロがコリント人へ書いていることです。(II コリント 7:10 参照)「私は何という事をしてしまったのか」それが、真の切実な悔い改めに導くのです。このことを間もなく見ていきます。二種類の悲しみがあります。神の御心に添った悲しみがあります。

「ああ、神よ、私は何ということをしてしまったのか…」何ということをしてしまったのか。それは真の悔い改めに導きます。しかし、それはバレた時の悲しみと対照的です。捕まった時の悲しみと。ええ、悲しみですが、しかし、神の御心に添った悲しみではありません。捕まったことを残念に思うのです。これをお話ししなければなりません。不本意ながら、ですが。2週間前の木曜日の夜、私は娘と車で家に向か

っていました。まさに聖書の学びの後に。そして、カラヘオ高校の前に、一本の道路があるんです。私たちはそれをサドルロードと呼んでいます。制限速度は時速 30 マイル (約 40 キロ)。その辺の高速道路で時速 30 マイルはおかしいです。だって、あの坂を下りるんですよ。私はどうしても家に帰りたくて、それで、たまたま制限速度を超えてしまったんです。青い光 (パトカー) は見ませんでした。青い光はなかったからです。ちなみにそれも間違いです。その代わりに懐中電灯で、車を止めろということです。そして、もちろん私の娘はなんの役にも立たず、「パパ、どれくらい速かったの?! パパ、車を止められちゃうよ!」— (笑) — 警察がやって来て、もちろん私は窓を開けました。そして、私の口から最初に出た言葉は何だったのか? 「申し訳ないです。」もちろん、申し訳ないはずです。何について? 制限速度超えて、捕まったことに申し訳なく思っているのです。ところで、彼はとても親切に、基本的に私の時速 46 マイルを記録するレーダーを見せてくれました。そして、制限速度を 16 マイルもオーバーしていることを、とても丁寧に説明してくれたのです。もちろん、私は、(知り合いの警官の) 名前を何人か出してみました…念のために。— (笑) — 彼は私を見て、私の顔を懐中電灯で照らして、こう言ったのです。

「ああ、僕はあなたを知っているよ。」(JD 頭を抱える) — (笑) — 「テレビであなたを見たよ。」ええ、きっと、アメリカで最も指名手配されているでしょう。彼は非常に親切で、私を警告だけで解放してくれて、それ以上にひどいことに、私は全く気付いていなかったのです。彼はこう言いました。「あなたの車検は期限切れですよ。」そこまでです。私はこれでおしまいです。制限速度 16 マイルオーバーで処せられて、しかも 2 月で期限切れだったのです。もう 5 月です。— (笑) — ほとんど、、、ああ、なんと...! 「ごめんなさい。」「本当に残念でしたね。」捕まったことが残念なのです。神の御心に添った悲しみとは、もっとこんな感じです。「なんてことをしてしまったんだ...」そして、それが捕まったことの世的な悲しみではなく、敬虔な悲しみであることを知ることができるのです。なぜなら、それは変化につながるからです。もし私が、本当に自分のしてしまったことを申し訳なく思うなら、それは変化に繋がるはずです。そういえば、一応、念のため。時速 34 マイル、少し猶予を与えてくれますよね? 本当に大変です。次回やってみてください。特に、渋滞のない時に。私は、時速 50 マイルで走っていたような気がします。速度を落とそうとしていたのですが、33 マイルには届かず、34 マイルでした。今夜またやってみますが、特にこのことを告白した直後なので…とても難しいです。要点は何かというと、私が言いたいのは、本当に神の御心に添った悲しみがあれば、自分のしていることを変えることにつながるということです。それが、エレミヤが民に語るように言われていたことです。あなたは、「私は何をしてしまったのか」と問いたくなるような、神の御心に添った悲しみに至ったことがないのです。「私は何をしてしまったのか」なぜなら、それこそが悔い改めにつながる神の御心に添った悲しみだからです。8 節。

8 どうしてあなたがたは、『われわれには知恵がある、主のおきてがある』と言うことができようか。… 言い換えると、「私の聖書を見たか? 何が問題なんだ? 私は聖書を持っているよ」

…見よ、まことに書記の偽りの筆がこれを偽りにしたのだ。

9 知恵ある者は、はずかしめられ、あわてふためき、捕えられる。見よ、彼らは主の言葉を捨てた、彼らになんの知恵があろうか。

10 それゆえ、わたしは彼らの妻を他人に与え、その畑を征服者に与える。それは彼らが小さい者から大きい者にいたるまで、…

また、何度も言いますが、これを覚えておいてください。

…みな不正な利をむさぼり、…

よく覚えておいてください。

…預言者から祭司にいたるまで、みな偽りを行っているからである。

11 彼らは手軽に、わたしの民の傷をいやし、平安がないのに、『平安、平安』と言っている。

おお、待って。すでにエレミヤがこう言ったのを聞きませんでしたか？ ええ、6章です。ここでもう一度繰り返されているのですか？ そうです。なぜか？ ここでまた繰り返される理由は、私たちが注意しなければならないからだと思います。その理由は、彼らが貪欲に身を任せただけからです。そして、誰もが互いに偽りを行っていたのです。この「貪る」という言葉は、原語では「不正な利得や利益を得る」という意味が伴っています。それが理由です。言い換えると、彼らは人々、お金、それらの数字を失いたくなくなかったのです。だから、それらを維持し、一人でも多くの支持者を得るために、平安がないのに「平安、平安」と言っていたのです。もう一度お尋ねしますが、どうかご辛抱ください。このことについて、先週少しお話ししました。実は、少し話をしただけでなく、少し時間をかけたのは、それなりの理由があったからだだと思います。ある時、ある牧師が泣いていて、彼は今主と共にいますが、彼がこの質問をしたのです。福音を延べ伝え、必要ならばその過程で人数が減ることを恐れないこんにちのバプテスマのヨハネは、どこにいるのか？ 言い換えるなら、エレミヤがこう言っているようです。

「神よ、私がこれを人々に宣告すれば、どうなるかは分かっています。そして、あなたが私を召され、この言葉を私の口に置かれ語らせたのは、彼らの口にある言葉が偽りだからです。」その背後にある理由を、私たちは今知っています。なぜ彼らは、耳障りのいいことしか言わないのか？ 貪欲に身を任せただけからです。支持者を失いたくなくなかったのです。そして、その支持者には何が付いてくるのか？ 貪欲さです。人の金から得た、不正な利得。今夜の学びに合わせて、すこし編集して、同じような質問をしてみます。

「こんにちの預言者エレミヤは、どこにいますか？」犠牲を覚悟の上で、真実を語るができる人。支持者を失うことになり、教会を去る人が出てくるでしょう。しかし、忠実なのです。バプテスマのヨハネや預言者エレミヤ、その他多くの人々の特徴は、人を恐れないということです。実際、彼らは人を恐れず、代わりに神を恐れているのです。このような言葉を聞いたことがあります。「人を恐れるなら、神を恐れない。」「神を恐れるなら、人を恐れない。」人を恐れることは、畏です。(箴言 29:25 参照)

私は牧師として、このことをよく知っているのです、心を痛めて言います。これが私の世界で、明けても暮れても私はこれを生き、これを食べ、これを呼吸し、これを飲み、これを眠ります。そしてどうか、私がこれより上にいると思わないで下さい。ああ、もしあなたがその葛藤、その誘惑さえ知っていれば。何度も…特に預言アップデートですが、「主よ…」と思ったことか。それに対して主は、「あなたはわたしを恐れるよりも彼らを恐れるのか？ 人々を失うことを恐れるのか？ 得るものや支持者、数を失うことを恐れているのですか？ つまり、数字が重要なんですね。興味深いのは…

お話ししましょう。聖霊からだだと思います。2021年1月、私は非常に難しい預言アップデートをしました。しかし、それは真実でした。私が分かっていたのは…日曜の朝までの霊的戦いの尺度で、いつも分かるのです。特に土曜日の夜です。そして、さらに踏み込んで言うと、日曜の午後以降になると、決まってすべてなくなるのです。それが私にとっての指標です。実際に、2021年1月10日のことでした。

この時の預言アップデートで、私は主を恐れて真実を語ったのです。YouTubeはそれを検閲しました。そして、私たちのYouTubeチャンネルは、二度と同じようにはいなくなりました。ソーシャルメディアの担当者に「YouTubeはあなたを処罰している」と言われました。彼らはフォロワーを登録解除し、

そして、コメントやメールまで来るようになりました。

「何の通知もなく、登録解除されていたため、再登録しなければなりませんでした。」そして、そのアルゴリズムのやり方は、あなたが動画を見ているときに、動画の提案があるんです。もう見ることはないのです。当時は…数字について話しましょう。これには良い結末があるので、ぜひ聞いてください。神は私を数字から解放してくださいました。というのも、正直に言うと、私は数字の伸びを眺めていたのです。

「登録者 10 万人」おぉ～「12 万人」「15 万人」「17 万 5 千人、20 万人、22 万 5 千人…」一時は月に 3 万人ほどの新規登録者がいたようです。1 日約 1,000 人です。ワ～オ 私は注目しました。妻に見せて、「ハニー、これを見てよ。」妻は私を見て…（首を横に振る）「あら、まあ。この数字を見ているのね？」2021 年 1 月、登録者が 27 万人になったと思いますが、そこで止まったのです。今何人か知っていますか？ 確認したわけではありませんが、確認しました。—（笑）— まあ、2 週間くらい経ってるので、よかったら確認してみてください。28 万人 そうならなかったらどうなっていたと言われていたか、ご存知ですか？ おそらく 50 万人くらい。なぜなら、それが軌道だったからです。要点は何か？

要するに、私のような人間は、数字に踊らされやすいということです。「もし私があれば、フォロワーを失うだろう。しかし、もし私がこれを言えば、フォロワーが増えるだろう。」それがエレミヤの言っていることです。まあ、神が私のために、私の代わりに、やってくださったようなものとも言えるかもしれませんね。神は私を数字から解放してくださいました。なぜなら、私たちのウェブサイトにはそれがないからです。そのことを神に感謝します。また、仮にそれを追加できたとしても、私たちのチームには追加してほしくないでしょう。私は知りたくありません。なぜなら、何が起るかということ、他の人のチャンネルを見るのです。はい、私はやりました。「わお。彼は 55 万人も登録者がいる。彼より登録者が多かった頃があったのに。どういうことだ？」なるほど、こういうことですね。つまり、数字がすべてなんですよ。ああ、私たちが数字から解放されることを、神に願います。そこに問題があったのです。こんにちの説教壇で、人がどう思うかを気にしないことが最も必要とされている時代に、揺るぎない大胆さがあることを神に願います。人を喜ばせる者ではなく、神を喜ばせる者がいることを神に願います。数字を失うことを知りながら、代償をはらうことを神に願います。しかし、結局のところ、重要なのはこれだけです。

「神さま、私はあなたの御目に適っていますか？」なぜなら、それだけが重要なのです。その大いなる最後の日に主の御前に立つとき、私たち皆が、主がこう言われるのを待ち望んでいるのです。

「良くやった、良い”忠実な”しもべよ。」(マタイ 25:21)

「良くやった、良い”生産的な”しもべよ」ではありません。「良くやった、良い”実りある”しもべよ」でもありません。いえ、いえ、違います。確実に、「良くやった、良い”成功した”しもべよ」でもありません。だってほら、世の中ではそうやって成功を測るのです。決して忘れないのは、何年も前に…この話の後、先に進みます。皆さんの忍耐に感謝します。牧師会議に出席して、このような牧師会議ではすべての牧師が、そして私も他の人と同じように有罪であることを知るようになったのです。自分の教会と相手の教会の規模を比べているのです。牧師会議では、こんな感じです。

「やあ、兄弟。日曜日は何人稼働させてるの？」何人稼働させてるかって？ 私たちは牛を飼っているのか、それとも羊を養っているのか？ もし、私があなたにこう言ったらどうでしょう。

「私たちは 50～75 人くらいの小さな集まりです。」「ああ、今度ランチでもしましょう。」次の人に行くのです。より多くの数字を持っている人に話を聞きたいのです。なぜか？ 数字が少ない人よりも祝福

されていると見るからです。その反対が真実だと知っていますか？ 最後に確認した時、イエスは明確にこう仰っていました。

「広い門に多くの人々が入っていくが、狭い門にはわずかな人が入る。」(マタイ 7:13,14 参照)
私たちはショックを受けます。栄光の中ではショックは受けませんが、もし可能なら、私たちはただただ驚くと思います。私たちが栄光の中に入り、誰が一番報酬を受けているかを見る時に。それは私たちが考えているような人たちではありません。誰が一番栄冠を受けているのか。それは私たちが考えるような人ではありません。これに関してもう一つ。それは危険で…非常に危険なのです。なぜなら、自分の数字を神の祝福のしるしであると空想し始め、認可 (license) を受けてしまい…そこから放縱 (licentiousness) という言葉が生まれました。そして「まだ何人来ているか見てみよう。」という旗印のもと、そうするのです。すると、牧師はうぬぼれ、そして彼らは自分たちの力だと考え始めるのです。もう一度お願いします。私はこれに陥らないことを願っていますが、このようになる可能性は十分にあるのです。しかし、神は長年にわたってとても忠実であります。私の家内のような妻がいることも助けになっています。ただ主は、自分の力でないことを思い出させてくださいます。オズワルド・チェンバースがかつて言った言葉で、いつも心に残っている、とても力強い言葉があります。基本的にこんな感じです。神はしばしば、自分がどれほど用いられているかを知らせないことで、あなたからあなたを守る必要があるとお考えになるのです。なぜなら、もしあなたがどれほど神に用いられているかを知ると、自分の力だと考え始めるからです。そして、もしあなたがそう考え始めると… 時代遅れなのは承知の上です。スマホでやればいいし、そのためのアプリもありますね。ただ時間をスタートさせればいいのです。時間の問題です。なぜなら、自分の力だと思えば、自分で一杯になり、プライドが高くなるからです。高ぶりはいつも破滅に先立つのです。(箴言 16:18)

では、先に進みましょう。皆さんの恵みと、聞いて下さったことに感謝します。12 節。

12 彼らは憎むべきことをして、恥じたであろうか。すこしも恥ずかしいとは思わず、また恥じることを知らなかった。…

恥じないだけでなく、恥じ方さえもう分からないのです。

…それゆえ彼らは倒れる者と共に倒れる。わたしが彼らを罰するとき、彼らは倒れると、主は言われる。

13 主は言われる、わたしが集めようと思うとき、ぶどうの木にぶどうはなく、いちじくの木に、いちじくはなく、葉さえ、しぼんでいる。…

これに注目してください。

…わたしが彼らに与えたものも、彼らを離れて、うせ去った。」

おお、ええ。その通りです。そもそも、それを与えてくださったのは主です。もしかしたら、そのことを忘れていたのかもしれませんが。ふむ…これは、バビロンが攻めてきて、神が彼らに与えられたすべてのものが奪われることを意味しています。繰り返しますが、この章の残りを、エレミヤがこれを見せられたというレンズを通して見ることがとても重要であると、私は最初に述べました。これが、いわゆる「主の重荷」です。これがどんなに重く、どんなに重荷で、どんなに大変なことか、想像がつかますか？ これには、エレミヤの心はとても重くなりました。エレミヤは民に、これから起こることを語らねばならないのです。そして、さらに追い打ちをかけるように、誰一人応じようとしません。実際には…そこにたどり着くのに1年かかりそうですが… この書の後半では、彼らはこのためにエレミヤを殺そうとするのです。それが彼らの反応でした。では 14 節、15 節です。興味深いです。

14 どうしてわれわれはなす事もなく座しているのか。集まって、堅固な町にはいり、そこでわれわれは滅びよう。われわれが主に罪を犯したので、われわれの神、主がわれわれを滅ぼそうとして、毒の水を飲ませられるのだ。

15 われわれは平安を望んだが、良い事はこなかった。いやされる時を望んだが、かえって恐怖が来た。まって、えっ？ 彼らは正気を取り戻したのですか？ ーいいえ。ここで悔い改めるのですか？ ーいいえ。手遅れです。悲しいことに、気づいたときには、もう手遅れなのです。繰り返しますが、これは自分の罪がバレるという悲しみなのです。私たちは主に対して罪を犯したのです。あなたの罪が、あなたを見つけました。あなたの罪が、あなたを見つけるはずです。そして、“もしも”ではなく、そうなる“時”手遅れになるのです。言い方が悪いのですが、こんな風に言わせてください。悔い改めるのに、遅すぎるということがあるのです。創世記の6章にこう書かれています、間違っているかもしれませんが。

「神の霊は、永久には人のうちにとどまらないであろう。」(創世記 6:3 参照)

神が「わかりました」と仰る時が来るのです。ローマ人への手紙の1章に、そのことが非常によく表れています。神はこう言われるのです。「あなたの心は決まっているようだ、あなたの心は固く、運命は決まっている。わたしはただ、あなたが選んだものに、あなたを委ねる。わたしはあなたに自分を押し付けることはしない。あなたと戦い続けることはしない。あなたはわたしを拒絶し続けている。それが襲い掛かったときに気づいても、もう手遅れだ。」16節。

16「彼らの馬のいななきはダンから聞えてくる。彼らの強い馬の声によって全地は震う。彼らは来て、この地と、ここにあるすべてのもの、町と、そのうちに住む者とを食い滅ぼす。

17節。これは興味深いです。

17 見よ、魔法をもってならすことのできない、へびや、まむしをあなたがたのうちにつかわす。それはあなたがたをかむ」と主は言われる。

聞いてください、私は言わなければなりません。もし私が神からこの説教を語るように与えられたら、その日は病欠して、レイトウカマックに代役を頼むと思います。これが、エレミヤが語った説教なのです。これが預言者が預言したことです。何度も繰り返してすみませんが、非常に重要なのです。エレミヤが門の前にいて、神殿と人々の群れの入り口にいるところを思い浮かべてみてください。そして、エレミヤはこれを語っているのです。「魔法をもってならすことのできないへび」「神はあなたがたのうちに、まむしをつかわす。」ああ、私たちは以前にも神がそうされるのを見たことがあります。モーセとアロン、そしてイスラエルの民に尋ねてみてください。「それはあなたがたをかむ、と主は言われる。」面白いイメージですよね？ この毒蛇のイメージ、それは、彼らが欺かれ、平和と魔法によってバビロンから解放されると言われたので、それを信じたということです。神はエレミヤを通して、仰います。

「あなたは、このことから逃れるために魔法をかけることはできない。このことから逃れるために、平和協定を自分で交渉することはできない。いいえ、彼らはあなたがたを食い荒らす。あなたがたに嘸みつく。魔法をかけることはできない。それが起こる。」18節。どうですか？大丈夫ですか？もうすぐで終わります。だからこそ、何度も戻って来てくださることに感謝しています。これはエレミヤの言葉です。18節。ここで一旦、角を曲がるようなものです。彼の心に耳を傾けてください。

18 わが嘆きはいやしがたく、わが心はうちに悩む。

19 聞け、地の全面から、わが民の娘の聲があがるのを。「主はシオンにおられないのか、シオンの王はそのうちにおられないのか。」…

民に関する困惑の中で、絶望的な叫びをあげたエレミヤに対して、神はこのように答えておられます。

…「なぜ彼らはその彫像と、異邦の偶像とをもって、わたしを怒らせたのか。」

これは、正に質問に質問で答えるという場面ですね。エレミヤは心を痛め、悲しみに満ちています。エレミヤの心は、ただただ傷つき、弱っているのです。そしてエレミヤは尋ね求め、主に泣き叫んで、尋ねています。「主よ、なぜですか？」その答えは、「わたしもあなたに尋ねる。なぜ彼らはわたしを怒らせるのか？ 彼らは自ら招いたのだ。」20節。

20 「刈入れの時は過ぎ、夏もはや終わった、しかしわれわれはまだ救われない。」

21 わが民の娘の傷によって、わが心は痛む。わたしは嘆き、うろたえる。

22 ギレアデに乳香があるではないか。その所に医者があるではないか。それにどうしてわが民の娘はいやされることのないのか。

エレミヤが泣き叫んでいるのです。心を痛め、泣いています。21節を急いで読み進めないでください。エレミヤは、「わたしは嘆き、うろたえる。」と、ただ叫んでいます。彼の気持ちを考えると、それどころではないでしょう。エレミヤは困惑し、啞然とし、驚いているのです。エレミヤはこのことを理解できないのです。ダビデのことを考えます。ここで少し、ダビデについてお話ししたいと思います。詩編でのダビデを思い浮かべます。たぶん、詩編6篇だと思えます。間違っているかもしれませんが、ダビデが基本的にこう言っている箇所です。「涙が止まりません。」

「私の涙で布団がびしょびしょになりました」（詩編6:6 参照）

「私は一晩中泣き、落ち着くことができません。ただ、涙が止まりません。」この章の終わりですが、もしよろしければ、9章の1節をお借りしたいのです。主の御心なら、来週読む箇所です。エレミヤが言っていることをお聞きください。

エレミヤ9

1 ああ、わたしの頭が水となり、わたしの目が涙の泉となればよいのに。そうすれば、わたしは民の娘の殺された者のために昼も夜も嘆くことができる。

だからこそ、エレミヤは「涙の預言者」なのです。彼は民のために泣いているのです。ところで、彼はとても良い仲間にも恵まれています。エレミヤはダビデ王や使徒パウロのような人たちと仲間なのです。使徒パウロは使徒の働き20章に泣いたと書かれています。パウロは言いました。

「3年間、私はあなたたちのために、昼夜泣いていました。なぜなら、私が去った後、何が起こるかわかっていなかったからです。あなたがたの中から、羊の皮をかぶった狼がやってきて、群れを容赦しないでしょう。それが私の心を痛め、泣いていました。」（使徒の働き20:29-31 参照）

パウロは泣き虫だったのです。パウロは人々のために泣きました。しかし、ダビデ王や使徒パウロ、そして彼らのような多くの人々よりも重要なのは、救い主自身なのです。これはもしかしたら... そうならなことを願いますが、驚くかもしれませんね。イエスはよく泣かれましたよね？ ご存じですか？ 実際、イエスはエレミヤだと思われるほど泣かれたのです。マタイ16章の中にあります。13節からお読みします。イスラエルに行かれた方、一緒にイスラエルに行かれた方は、私たちはこの場所に行きました。とても悪魔的な場所、サタン的な場所、ハデスの門、フィリップ2世の祖先の場所です。

マタイ16

13 イエスがピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、弟子たちに尋ねて言われた、「人々は人の子をだれと言っているか。」

14 彼らは言った、「ある人々はバプテスマのヨハネだと言っています。しかし、ほかの人たちは、エリヤだと言い、また、エレミヤあるいは預言者のひとりだ、と言っている者もあります。」

待ってください。なぜ彼らは、イエスがエレミヤだと思ったのでしょうか。なぜなら、イエスは涙を流されたからです。イエスは泣かれました。

15 そこでイエスは彼らに言われた、「それでは、あなたがたはわたしをだれと言うか。」

16 シモン・ペテロが答えて言った、「あなたこそ、生ける神の子キリストです。」

17 すると、イエスは彼にむかって言われた、「バルヨナ・シモン、あなたはさいわいである。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。

今夜のポイントはここです。エレミヤは民のために泣きました。イエスは激しく泣かれました。そのため、イエスを本当にエレミヤだと思ったほどに。私は思うのです、私たちは、この国のために泣いていますか？ 外出先で見かけた人のために泣いていますか？ 私たちはエレミヤのように、何が起こるかを知っているからです。お許しいただきたいのですが、しかし、バビロン人が来たときに起こったことが生々しく恐ろしいものであったとしても、患難時代が来たときに起こることとは比べものにならないのです。そして私たちは、それが起こると知っています。外出先で…これは、私にとって大きな転機となりました。変えたのです。これは主ですが、私は本当に感謝しています。私の唯一の後悔は、主との歩みの中でもっと早くからそうしていればよかったということですが、これは私の人生を大きく変えました。決して振り返りません。主は私の心の中に働き始められたのです。人を失われているか、救われているかのどちらかでしか見ないように。リベラルか保守派ではなく、共和党か民主党でもなく、左派か右派でもなく、彼らが失われているのか、救われているのか、です。それがすべての様相を変えます。もう二度と、人を同じように見ることはできません。外出するときは、大げさではなく、あまり出かけませんが、文字通り、私はあまり外に出ません。しかし、外に出る時、私は人々を見て、カイルアタウンにいて、歩いている人たちを見ると、ただ思うのは、彼らはイエスを知らなければ、何が来るのか、見当がつかないのです。彼らは何が起こるのか知りません。私はただ、人々の救いを祈ります。そして私は、実に具体的に祈ります。

「主よ、その人が救われるように、その人の人生に語りかけ、あなたのもとに連れて行くことができる人を送ってください」そのような見方をすると、誰かに怒る気にもならないでしょ？ なぜなら、彼らのために泣くとき、彼らに対して怒ることはできないからです。どちらかなのです。私の人生を変えた、神がこの点で私の心を変えられたと言うのは、本当にそういうことなのです。なぜなら、長い間、私は怒っていたのです。そしてその時、私が怒っているその人は、迷っていて、イエスを必要としているのだ、と気づいたのです。そして、彼らに対する怒りから、彼らを哀れに思うようになり、心の中で涙することさえあったのです。彼らのために祈り始めました。ところで、その理由はマタイによる福音書の5章にあります。これで締めくくります。イエスは言われました。

「敵のために祈りなさい。あなたを憎んで利用し、あなたに対して悪口を言う者たちのために。」

(マタイ 5:44 参照)

分かりました、彼らのために祈ります。「神よ、彼らを捕まえてください。イエスの御名によって。」ええ、敵のために祈りましたよ。いえ、いえ、違います。彼らの救いを祈ってください。彼らの上に神の祝福を祈ってください。そして、彼らに対するあなたの心の変化を見てください。神の御言葉の権威のもとに、彼らはもはやあなたの敵ではなくなります。敵からチャンスに変わるのです。なぜなら、あなたは今、何

らかの投資をして、彼らのために祈り、彼らが救われることを望んでいるのですから。そこには愛があり、それは内側からのものです。あなたの内におられる聖霊が、あなたを内側から変えてくださるのです。だからこそ、敵のために祈るのです。というのも、始めは荒っぽいかもしれません。

「神よ、彼らをしゅ、しゅ、しゅ.....祝福してください。心配はしていませんが、ただ、その...」でも、しばらくすると、神がその人たちに対するあなたの心を柔らかくしてくださるのです。それが神の御心です。涙の預言者エレミヤ、エレミヤのように人々を思う心を持つとき、私たちはキリストのようになるのです。

お立ちください。カポノ上がって来てください。主よ、再び、預言的類似点が多いので、逃れることはできません。いわば、まだ油断はできないのです。出来ません。あなたはエレミヤにこれから起こることを示され、私たちにもあなたの御言葉の中でこれから起こることを示されました。そして、それは非常に速くやってきます。そして、主よ、今夜の私の祈りは、私たち全員、私自身も含めてですが、特に、エレミヤのように人々を思う心を持つことができますように。主よ、その心を与えてください。あなたのような心。あるいは、自分が何を失うか、その代償は何かということを知った上で、誰かに警告する必要があるということなのかもしれません。もしかしたら、関係を危うくするかもしれません。主よ、感謝します。またもや、これは大変なことですが、とても必要なことでした。このことに本当に感謝します。

主よ、ここからはあなたが導いてください。聖霊によって、あなただけがお出来になり、いつも忠実であられるように。なぜなら、今夜のあなたの御言葉の中でのこの聖書の学びの時間を無駄なものにはしたくないからです。主よ、私たちの内に、この御業をなさってください。私たちは御言葉の中に入り込む必要がありますが、私たちの中に御言葉が入り込む必要があります。主よ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7